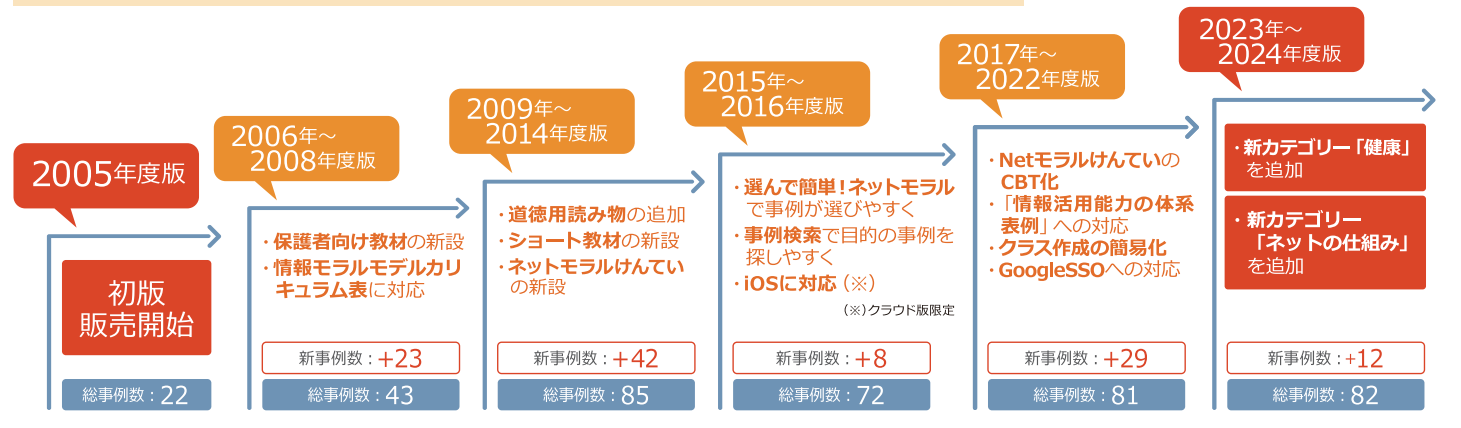


# 「事例で学ぶNetモラル」の変遷

「事例で学ぶ Net モラル」は、「子供たちが情報社会と上手につきあうために」をコンセプトに、学校の置かれている環境、児童・生徒の発達段階や情報手段等の活用状況に合わせて、すぐに指導することができる教材として 2005 年に発行されました。それ以降、時代に沿った教材として毎年事例の増補～修正を行っています。

2025 年には 20 周年を迎え、累計約 8000 校もの学校様に導入されています。



### 2024 年度版の新事例はこちら!

- 個人情報の登録
- 作品の著作権
- 表示される情報には偏りがある
- 学習に合わせた使い方
- まばたきの大切さ

### 保護者用教材で PTA 研修会もサポート!

事例アニメーション

保護者の方にも知っていただきたいネット社会の現状や決まり等をアニメーションで解説しています。

## 先生方からの声

**気楽な活用を繰り返していくことが大切**

本教材では、具体的な事例を通して学ぶようになっています。事例が具体的であるからこそ、学習者が悩んだり葛藤したりしながら、現実的な対応法を学んでいくことができます。子供だけではなく先生や保護者も一緒に学んでいく、そういう気楽な活用を繰り返していくことが大切だと思います。

東京学芸大学 教育学部教授 高橋純 先生

**よりよい生活をつくっていくための教材として活用していきたい**

子供たちの生活は、思った以上にネットに深く関わっています。その中で、正しい知識や考え方の指導を重ねていくことは欠かせません。心配なことがあるからだけではなく、望ましい使い方をし、よりよい生活をつくっていくための教材として活用していきたいと思っています。

柏市教育委員会 教育研究専門アドバイザー 西田光昭 先生

## 目の健康動画監修

**健康のためには使い方を知ることも重要**

学習の様々な場面でタブレットパソコンを使うようになりました。また、教室や屋外、家庭など、様々な環境で使われます。タブレットパソコンの機能や特性を知ること、学習を効果的に進められるだけでなく、目の疲れを軽減したり画面が見やすくなったりもします。

東海大学 情報理工学部教授 柴田隆史 先生

**【対応ブラウザ】**  
「事例で学ぶNetモラル」をお使いいただくための対応ブラウザは、以下の通りです。  
Microsoft Edge、Google Chrome、Safari  
※ Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。  
※ Google Chrome は、Google Inc. の商標です。  
※ Safari は、米国および他の国で登録された Apple Inc. の商標です。

**【その他】**  
Adobe Acrobat Reader  
※ Adobe Acrobat Reader は最新のバージョンを推奨します。  
※ Adobe Acrobat Reader は Adobe Inc. (アドビ株式会社) の商標または登録商標です。

**広教 HIROKYO**  
広島県教科用図書販売株式会社 ITソリューション事業部

〒733-0032 広島県広島市西区東観音町15番12号  
TEL: 082-291-1088 FAX: 082-291-1082  
URL: https://www.hirokyou.co.jp/  
E-mail: info-hiroshima@hirokyou.co.jp

※製品の仕様は予告なく変更する場合があります。

# 情報活用能力育成サポート教材

# 事例で学ぶ Netモラル

Netモラル・セキュリティ研究会編

2024 VER

企画・監修  
東京学芸大学  
教職大学院  
教授 堀田 龍也

## 1人1台端末環境に対応し、個別最適な学びを実現

- 情報活用能力の育成
- 日常的な情報モラルの指導
- 保護者やPTA研修会の支援

**Check!**

『事例で学ぶ Net モラル』の使い方を動画で解説!



# 子供たちが情報社会と上手につきあうために

※文部科学省のあらゆる学習指導要領解説には「情報モラル」の記載があります。

- ・小学校学習指導要領解説「総則編」「総合的な学習の時間編」「社会編」など
- ・中学校学習指導要領解説「総則編」「総合的な学習の時間編」「技術・家庭編」など
- ・高等学校学習指導要領解説「総則編」「情報編」「公民編」など

「情報モラルとは情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度ととらえることができ、その内容としては、個人情報の保護、人権侵害、著作権等に対する対応、危険回避やネットワーク上のルール、マナーなどが一般に指摘されている。」

※参考：文部科学省ホームページ

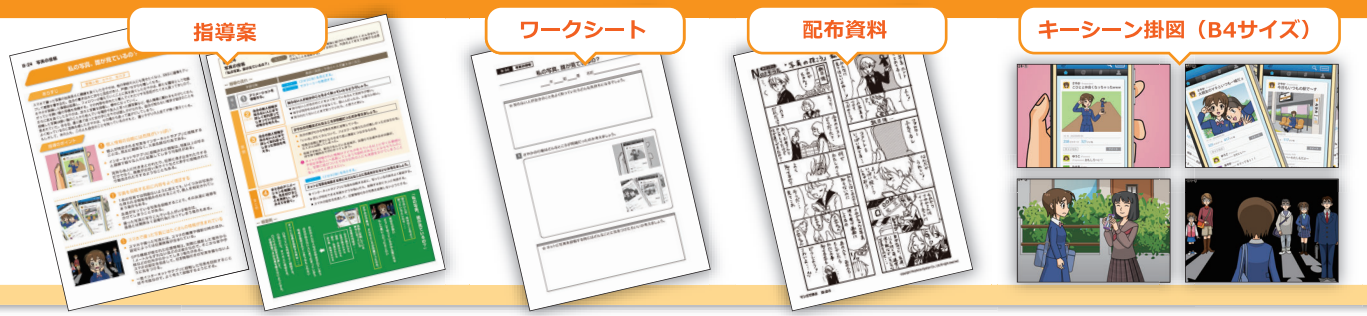
# 豊富な教材と確かな指導資料で情報活用能力の育成をサポート

## 👍 スムーズに授業を進行できる指導資料！



### 指導資料

問題点を理解するための資料、指導案、ワークシートなど4種類の指導資料が付属しています。  
※教材によって付属する資料に違いがあります。  
●A4版冊子とデジタル版の2種類で用意しています。印刷、コピーしてお使いいただけます。



## 👍 子供たちが考えて、議論もできるオープンエンドのアニメーション



ドラマ仕立ての **事例アニメーション** を視聴後、**キーシーン** でストーリーを確認、議論の後は **まとめ** でポイントをおさらい！

迷ったらまずはここから！  
ここからはじめるNetモラル



ランキング形式だから重要な事例がわかりやすい！

### ■ ラインナップ

**NEW!** 新事例 5点追加!!

<b>小学校版：71 事例</b>	<b>中学校・高等学校版：58 事例</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットパソコンを使うとき</li> <li>・ネット依存</li> <li>・画面までの距離と姿勢 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安易な投稿で炎上</li> <li>・グループトークでいじめ</li> <li>・写真のハッシュタグ など</li> </ul>

※小学校版と中学校・高等学校版で収録される事例は異なります。

指導内容の重要度が高く、授業でよく活用されている事例アニメーションを学年別にセレクトしています！  
何から指導するか迷ったときはこちらからがおすすめです！

## 👍 幅広い事例カテゴリで学びたいものがきっと見つかる！



<b>ルール・モラル・マナー</b>	<b>なりすまし・出会い系</b>	<b>健康</b>	<b>セキュリティ・ウイルス</b>

情報端末使用時に知っておきたい決まりが分かる！

ネット上の出会いから起こるトラブルを避ける方法が分かる！

画面の見やすい明るさや、端末使用時の正しい姿勢の取り方が分かる！

インターネットをより安全に使用するための方法が分かる！

その他情報教育に特化した充実のカテゴリをご用意！

※文部科学省『すべての先生のための「情報モラル」指導実践キックオフガイド』の「情報モラル指導モデルカリキュラム表」に準じています。

## 👍 子供たちが簡単 & 気軽に受講できる CBT 機能

子供の年齢や習熟度、そして学習のねらいから簡単 & 気軽に子供の情報モラル理解度がチェックできます。

<b>児童・生徒 受講画面</b>	<b>先生 集計画面</b>

それぞれ4択×10問(低学年は主に2択×5問)で構成され、5~10分程度で気軽に取り組むことができるテストです。解答後は事例アニメーションを見ながら学びを深めることができます。

個別の学習状況が確認できるほか、クラス全体の傾向に合わせたおすすめ事例も表示されるので、授業づくりにも活用できます。

## 👍 子供たちの自己学習もサポート！



コンパクトな事例アニメーションと確認問題のセットで、子供たちが自分のペースで学ぶことができます。先生が子供たちに学んでほしい事例を課題として設定することも可能です。

**子供たちが一人で学べる簡単3ステップ！**

<b>1 事例アニメーションの視聴</b>	<b>2 確認問題</b>	<b>3 受講完了</b>

## 子供たちの学習状況が一目でわかる！

<b>課題の設定</b>	<b>学習者別の進捗状況</b>	<b>クラスの集計・進捗確認</b>

ワンクリックで課題の設定ができる！

2024 年度版 新事例 **5** 点追加

小学校版 **48** 事例

中学校・高等学校版 **28** 事例

### 情報セキュリティ研修における「eラーニング」実施のメリット

#### 先生のメリット

- ① 同じ時間、同じ場所に集まる必要がありません。
- ② 自由な時間と場所で学習できます。
- ③ 先生個々人の習熟度に応じて学習を進めることができます。
- ④ 働き方改革の実現。

#### 研修の管理者(教育委員会や管理職など)のメリット

- ① 職員全員に統一したレベルの情報セキュリティ研修を行うことができます。
- ② 研修場所の準備や、当日の同席などが必要ありません。(業務の効率化)
- ③ 研修資料の準備や印刷物を減らすことができます。(コスト削減)
- ④ 必要な学習(研修)習熟度の把握などの自動化が図れます。(見える化)

## 04 ご提供形態

「事例で学ぶ 学校情報セキュリティ」では以下の形態をご用意しております。

#### 形態① 「先生数」ライセンス版



先生数×年間利用料

教職員の人数分の年間利用料でご利用いただけます。

#### 形態② 「学校数」ライセンス版



学校数×年間利用料

学校数分の年間利用料でご利用いただけます。校内は職員数に限らずライセンスは無制限です。

## 05 構成イメージ(動作環境)

「事例で学ぶ 学校情報セキュリティ」での動作環境は、以下の通りになります。



#### 対応ブラウザ

Microsoft Edge、Google Chrome、Safari

※ Microsoft Edge は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。  
 ※ Google Chrome は、Google Inc. の商標です。  
 ※ Safari は、米国および他の国で登録されたApple Inc. の商標です。

※サービスの仕様は予告なく変更する場合があります。

【販売店】

# 事例で学ぶ Netモラル の広教がご提供する先生のためのeラーニング

## 事例で学ぶ 学校情報セキュリティ

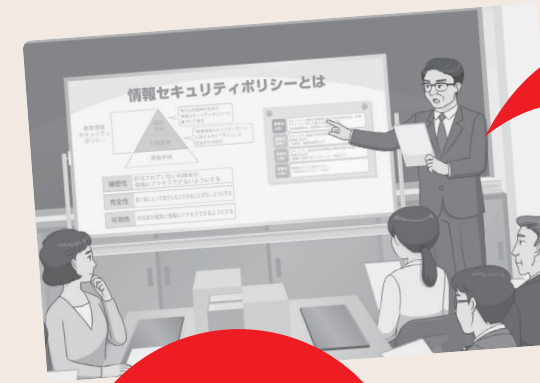
2023 VER

企画・監修  
 東北大学大学院  
 情報科学研究科  
 教授 堀田 龍也

Netモラル・セキュリティ研究会編

# 学校の情報セキュリティ研修を eラーニングで実現!

これまで...  
 ● 情報担当先生向け集合研修  
 ● 授業終了後に校内研修  
 ● 参加できない先生に個別研修



これからは!



- 教室や職員室など、どこからでも実施できます
- 決められた期間までに任意のタイミングで学習可能
- 管理者は、学習履歴や進捗状況が把握できます

# 01 「eラーニング」を活用した学習の流れ

「事例で学ぶ 学校情報セキュリティ」での学習の流れをご案内します。



# 02 豊富なコンテンツ

各事例では、学校での情報セキュリティの現状や問題の背景、事故を防ぐための知識について、わかりやすく解説しています。その上で学校現場で起こりうる事例をアニメーションを見て体験し、さらに「確認問題」を受講することで、知識の確認と定着ができます。

## 学校現場における「今」の脅威に対応するため毎年自動でバージョンアップ!

2023年度へバージョンアップ!



資料やデータなどをクラウドを利用して保存することや、共有することが増えてきました。データをクラウドに保存することで、多くの人とデータを共有し、編集することが可能です。この事例では、クラウド上でのデータの共有範囲や編集権限の設定などを詳しく解説し、クラウドを便利に活用する方法を紹介しています。

「情報の扱いの知識とスキル」の事例	「危険な行動」の事例
ID とパスワードの管理 / パスワードによるロック / USB メモリの紛失 / 私物機器を使ったデータの持ち出し / CD からのウイルス感染 / 二要素認証 / 詐欺メール / フィッシング詐欺 / 情報の共有 / フェイクニュース / メール送信の基本 / クラウド利用で変わるセキュリティ対策 / 校内情報の配信 / クラウドでのデータ管理 / 場所を選ばないオンライン会議で働き方改革 / 学校での著作物の利用	運用規程を守る / アナログ情報の管理 / 裏紙の再利用 / 不審な電話 / メールとファックスの誤送信 / 保護者と連絡先交換 / SNS への投稿 / クラウド時代のセキュリティのポイント / 不正アクセス / 標的型攻撃メール

各事例は文部科学省「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン（令和4年3月版）」に対応！

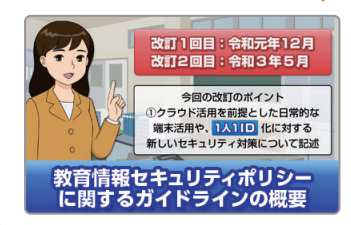
**ガイドライン内の該当箇所（例）「二要素認証」**

物理的セキュリティ 1.4.4. 教職員等の利用する端末や電磁的記録媒体等の管理

④教育情報システム管理者は、取り扱う情報の重要度に応じてパスワード以外に生体認証や物理認証等の多要素認証を設定しなければならない。

## その他「情報セキュリティの基礎知識」や「用語集」などコンテンツ多数!

### 情報セキュリティの基礎知識



情報セキュリティに関する校内研修が簡単にできます。学校における情報セキュリティや社会的背景などについて、アニメーションとナレーションで分かりやすく解説しています。また、文部科学省「教育情報セキュリティポリシー」に関するガイドライン（令和3年5月版）について、全ての教職員が理解しておくべき内容をまとめた事例もあります。

### 用語集



基本に関する用語から、専門的な用語まで180以上の用語を解説。コンピュータの基本からセキュリティ用語まで、知っておきたい180以上の用語を解説しています。

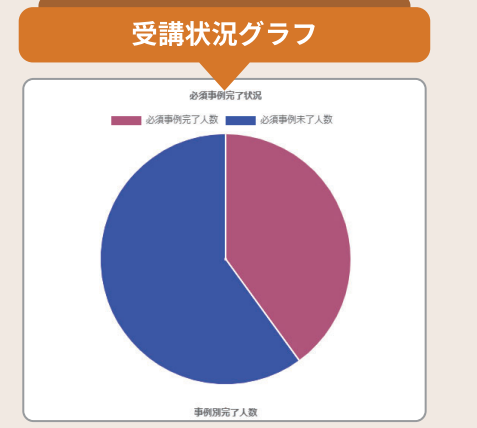
# 03 進捗や履歴を把握

レベルの統一 / 業務の効率化 / コスト削減 / 見える化 / メリット多数!



## 研修の管理者（教育委員会や管理職など）の方は、学習者の進捗や履歴を把握できます

受講状況



管理者は、受講者の進捗状況の確認や、未実施者へメールで受講催促を通知することができます。また、CSVデータとしてダウンロード可能なので、履歴の管理や保存が簡単にできます。

受講者の必須完了事例が一目でわかるグラフの表示ができます。

## 受講必須事例の選択やコンテンツの追加などのカスタマイズも可能

受講必須事例の選択 / オリジナルの資料等をアップ / 確認問題のカスタマイズなど

画像、PDF、Office etc.

全事例の受講が難しい場合は、受講を必須にする事例を指定することができます。また、期日が近くなると、自動で受講者に一斉メールで通知することも可能です。

自治体や学校で使用されているオリジナルの資料等を eラーニング内で共有できます。画像、PDF、Office 等の形式の他、サイトリンクの共有も可能です。

自治体や学校のセキュリティポリシーや現状に合わせて、確認問題などをアレンジして作り変えることもできます。